

赤潮情報第42号

(八代海：マーガレフィディニウム sp. 笠沙型警報 続報)

(八代海：カレニア ミキモトイ注意報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

マーガレフィディニウム sp. 笠沙型は、注意報基準値を下回りましたが、カレニア ミキモトイは依然として注意報基準値を上回っています。

本日、県が調査したところ、マーガレフィディニウム sp. 笠沙型(旧名:コクロディニウム sp. 笠沙型)が海水1mL 当たり最大2細胞、確認され、本種の注意報基準値(海水1mL 当たり100細胞)を下回っています。

一方で、カレニア ミキモトイが海水1mL 当たり最大290細胞、確認され、本種の注意報基準値(海水1mL 当たり100細胞)を上回っています。

今後の気象、海況によっては増殖する可能性がありますので、周辺海域で養殖・蓄養をされている方は、引き続き、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意してください。

なお、シャットネラ属は全ての地点で確認されませんでした(現在警報発令中)。

※数字は水深0m、2m、5m、10m 層の海水1mL 当たりのマーガレフィディニウム sp. 笠沙型の細胞数です。
()の数字はカレニア ミキモトイの細胞数です。

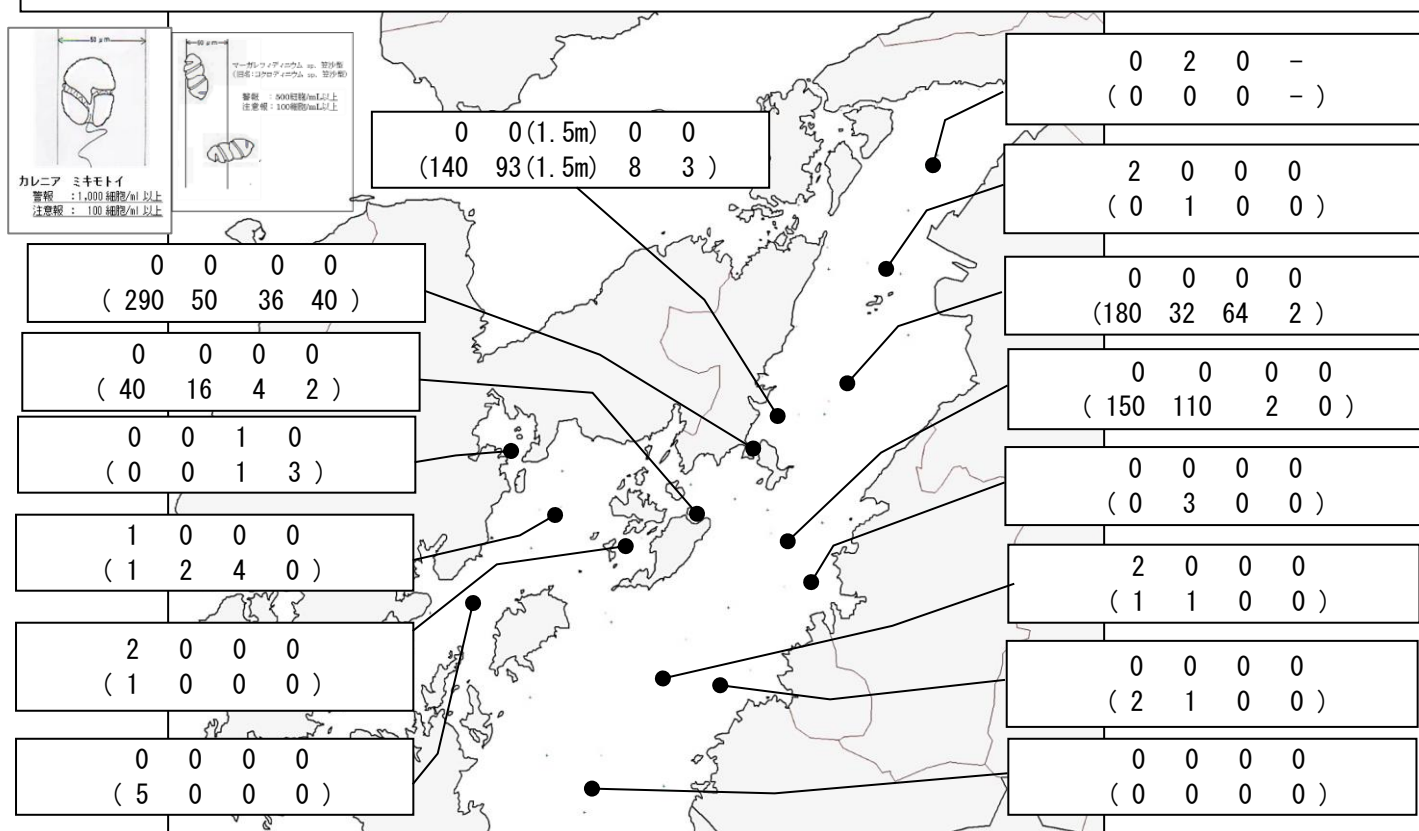


図 赤潮発生海域

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください
(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/264971.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/distributionInit.php?qkaiku_id=1

赤潮情報
ホームページ

赤潮ネット

